

離職者訓練(住宅リフォーム技術科 短期デュアルコース)を受講し、 企業で活躍する会津職業能力開発促進センターの修了生

～訓練で学んだことが実際の現場で役立っています～

平成24年1月仕事始め早々、当ポリテクセンター開発援助課に、作業服に長靴姿のうらわかき女性の方が息せきこんで、来所されました。

「おかげさまで、建築士の2級に合格しました。〇〇先生は、いらっしゃいますか。」とのこと。

話を聞いてみると、住宅リフォーム技術科を平成23年6月に修了された木村絵梨子さんでした。そういえば、この方は訓練生の求職情報誌を近隣事業所あて情報提供し、リクエスト（企業からの指名求人）があって、面接し、採用に至った方でした。

今はその建設会社に就職して、毎日ご奮闘されているとのことでした。

今回は、木村さんを採用いただいた職場（会津坂下町にあるマルト建設株式会社様）を訪ね、総務部の永山尚（たかし）さんと修了生の木村絵梨子さんにお話をお聞きしました。

マルト建設株式会社様は、公共・民間を問わず、土木・建築事業を中心として幅広く事業展開され、地元でも有数の実績のある会社です。



1. 同社の総務部、永山尚さんにお話を伺いました。

・ポリテク会津について、知っていた事及びポリテク会津の受講生を採用することになった理由について

正直に言えば、ポリテク会津の事はあまり予備知識がありませんでした。

そんな中でポリテク会津から送付された、訓練受講生プロフィールや求職内容等が記載された求職情報誌を拝見し、従業員の採用についてポリテクの就職担当者に相談させてもらったところ、「良い人材がいますよ」との説明を聞いて、面接をさせていただくことにしました。

そして木村さんと面接をすることになりましたが、明るく、質問の受け答えもはっ

きりされ、建築の仕事にも非常に興味をお持ちでしたので、採用させていただくことになりました。

2. 修了生(木村さん)の仕事ぶりについて

まじめで、いつも仕事に前向きに取り組む姿勢が見受けられ、立派にやられています。今は、主にCADを利用して設計作業等に頑張ってもらっていますが、今後はいろいろな経験をつんで、現場廻り等にも積極的に出て行って仕事の幅を広げていてもらいたいと思っています。

3. 今後のポリテク会津に期待すること

会社として採用を考える時には、できるだけ即戦力となる人材を採用していきたいというのが正直なところですが、ですからポリテクでも基本的な技能・技術に留まらず、できるだけ実践的に、また具体的に資格取得にもつながるような教育訓練を実施して欲しいと思っています。

次に、住宅リフォーム技術科を平成23年6月に修了し、9月からマルチ建設株式会社に就職された木村絵梨子さんにもお話を伺いました。



1. 訓練を受ける前の状況について

東京で内装の仕事をしていましたが、結婚を機に会津に移ってまいりました。

その後、なかなか希望する職種の事業所が見つからず、ハローワークに行ってもポリテク会津の事を知り、訓練を受けながら資格(2級建築士)をめざし、建設関係の会社に就職したいと思っていました。

2. 訓練内容について

CADをはじめ、Excel、Wordなどの勉強も面白く、実際、今の仕事にも、役立っているのが良かったです。また、訓練に並行して、自分なりに2級建築士の受験勉強のペース配分を考え、時間確保もすることができました。

さらに、1ヶ月間の企業実習も、授業では体験できなかった勉強が出来て良かったです。

3. 訓練期間中の思い出について

訓練でいっしょになった方々とは、ともに励ましあって訓練を受講できる、良い関係を築くことが出来ました。

また訓練と並行して2級建築士の勉強に取組み、担当の先生からもアドバイスをいただくこともできましたので、6月末の訓練終了後すぐ学科試験に挑戦し、その後に設計製図の試験も合格することができました。

4. 就職活動に対するサポート体制について

訓練の終盤で、ポリテクの就職相談を受け、求人票の取寄せ等就職活動を応援してもらいましたが、同じクラスの中には、もう少し早い時期に活動できるようにして欲しかったとの話なども出ていました。

また、職業講話や三者面談等就職活動に関する事を訓練の前半で実施していただき、自分の就職の方向性を確認したり、いろいろなアドバイスなどもいただきました。

後半もそういった機会があってもよかったのではと思いました。

5. 今の仕事のやりがいや今後の抱負について

住宅の設計から、施工管理までについて、幅広く仕事に関わっていきたいと考えています。

また先輩の女性もおられ、はげましていただいています。

今後は、この会社の中で、住宅に限らず、大きい建物にも関わっていき、資格試験（一級建築士ほか）にも挑戦したいと思っています。

6. 公共職業訓練コースを受講する方に対するメッセージ

普段の生活の中では、自分一人で集中して勉強することは難しいですが、公共職業訓練を受講できるという機会の中で、与えられた環境や時間を大切にして、目標に向かってがんばってほしいなと思います。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、離職されている方の早期再就職に必要な技能・知識を習得できるよう、地域の求人状況等に応じた訓練コースを設定し、機構の施設において標準6ヶ月の離職者訓練(アビリティコース)を行っています。

このほか、今回の事例のように、短期デュアルコース(橋渡し訓練付き)も実施しており、このコースは、社会人としてのマナーや職業意識の啓発のための「橋渡し訓練」を1ヶ月間実施し、その後、6ヶ月間の訓練を行う7ヶ月間の訓練です。6ヶ月間の訓練は5ヶ月の当センター内での訓練と1ヶ月間の事業所に於ける企業実習で構成された訓練コースになっています。